

報告者：川合（アポロ）

令和5年度 第1回 台東区障害者地域自立支援協議会(くらしの部会)報告

1 開催日

毎月第3水曜日 10:30～12:00

リモート開催 1/18、リモート・対面同時開催 2/15、3/15、4/19（計4回）

2 検討した内容

(1) 災害時の「情報伝達」について

危機・災害対策課作成の「台東区安全・安心ハンドブック」の中から、命を守るために重要と思われる情報を抜粋し、ハンドブックに差し込むためのチラシを作成する形で意見がまとまった。

対象者は、障害種別を問わず、サービスも受けず通所もしていない、どこにも繋がっていない末端の障害当事者に設定。

目の届くところに貼っておけるものにし、わかりやすいイラスト入りで、ルビを振るなど工夫したものを理想として、A3用紙二つ折りの全4ページで作成予定。

ハンドブックから重要と思う部分について、災害発生前後の区別をせず、重要事項のピックアップ作業を実施し、意見交換を行う。掲載する情報の多さ、重点を置く要素、用紙のサイズ、障害種別によって必要性に違いがある等の意見があった。

町会や近隣の方に協力してもらい、情報伝達ツールや広報を模索していくことで方針が定まった。配布方法について各自治体の回覧板活用、行政の窓口、各法人窓口等の提案があった。

[現段階での作成案]

| |
|--|
| タイトル |
| *障害のある方は遠慮なく 助けを求めましょう *まずは身の安全の確保を しましょう |
| 避難場所 記入欄 <input type="checkbox"/> |
| 伝言ダイヤル/問い合わせ先 |

| |
|-----------------------------|
| 避難人の心得 身の安全の確保 (一部抜粋) |
| 非常持ち出し品 |

| |
|-------|
| 備蓄品 |
| 自由記載欄 |

〔安全安心ハンドブック抜粋箇所〕

- 1 ページ目：「障害のあるかたは遠慮なく助けを求めましょう (P10)」
「伝言ダイヤル (P22)」
- 2 ページ目：「避難時の心得 (P18)」「身の安全の確保(P8)」「非常持ち出し品 (P5)」
- 3 ページ目：「備蓄品 (P5)」
- 4 ページ目： 未定

(2) 計画策定に向けての地域課題の整理（詳細別紙参照）

現行の障害福祉計画の確認と意見、日頃の支援の中で感じている意見を集約し、次期障害福祉計画策定に向けて意見をまとめた。

「住宅相談・情報提供」「ショートステイ(短期入所)の整備」「医療的ケアに対する施設の支援」「グループホームの整備・運営」「学校卒業後の夕方支援の検討」「ヘルパーの養成促進」「人材育成・確保に向けた取り組みの推進」「資質向上に関する研修等」「在宅避難対策の推進」「バリアフリー化助成の実施」等について意見があった。

(3) 令和5年度くらしの部会検討テーマについて

- ・災害時の「情報伝達」について

令和4年度後半の検討テーマを継続

- ・人材確保について

福祉業界では人出不足が深刻であり、一部法人では死活問題となっている。各サービスの廃業・縮小による影響が最も大きいのは当事者であり、よりよいくらしについて検討するくらしの部会としては、利用者・事業者共に最も大きく関わる内容であるという意見によりテーマとした。

個々の事業所だけではなく、多数の事業所の問題・様子を共有することで、人材が集まらない、就労が続かない根本的な理由を探っていく。

部会の範疇を超えている大きなテーマであり、部会としての目標値、具体的成果についても議論している。本会を通じて区に意見をするほか、相談支援部会との共同での検討作業や、今いる人材をつなぐための実態調査を実施する等の意見が挙がっている。

3 今後のスケジュール

- ・令和4年度後半の検討テーマ「災害時の情報伝達」について検討継続し、ハンドブックに差し込むためのチラシを作成していく。
- ・令和5年度テーマ、各事業所における「人材確保について」の検討を進めていく。
- ・令和5年度講演会・勉強会の具体的なテーマ等の検討、講師の選定を進め勉強会を開催する。